

クラス強制2名抛出 西高祭実行委員会

希望者加入形式

西高祭スタッフへ

愛称

現状分析

現状分析 (○方向)

- ・実行委員長やOFFFの司会などをやりたいという人が加入し、盛り上げてくれている。
- ・例年の流れを少しずつ改良することで、西高祭はうまく進められている。
(行事盛り上げ部分は西実+希望者、事務部分は生徒会執行部の分担が自然に定着。)

現状分析 (×方向)

- ・クラスから強制2名という西高祭実行委員には人気がない。(くじ引きクラスも多数。)
- ・作業があるので集合、と声をかけてもほとんど集まってもらえない。
- ・「クラスの西高祭係」と「西高祭実行委員」の仕事分担があいまいで、クラスごとに混乱がある。また、情報が伝わっていないクラスがある。
- ・生徒会執行部が細かな事務部分を引き受けている。(突然委員になっても事務系は困難。)

できれば・・・

- ・「西高祭受付係」もクラス強制参加ではない形にできないだろうか。。。
(こちらもくじ引きで決まるクラスも多数。やってみれば実際は楽しいとのことだが。)

一月三十一日(火)放課後、臨時評議委員会が開催された。各委員会・各部・各HRの代表が集まるこの会議に、生徒会執行部より西高祭実行委員会のシステム変更が提案された。二月二日(木)に再度評議委員会を開き変更案は承認。今回はその内容を評議委員会資料から抜粋、生徒会長の坂本くんに細部を聞いた。合わせて生徒会費で準備される、卒業生ひとりひとりの記念品も紹介する。



発行所
埼玉県熊谷市三ヶ尻2066番地
埼玉県立熊谷西高等学校
編集・発行・印刷
熊谷西高等学校
特活部・生徒会



変更ポイント

- ①「西実(=西高祭実行委員会)を完全希望制へ」(有志の実行委員会とする)
 - ・広く宣伝&声かけ。生徒会執行部は基本的に全員入る形をとる。
- ② あわせて名称も委員会ではなくもっと入りやすく親しみやすい愛称をつける。
 - ・西高祭スタッフ(仮) 他
- ③ 実行委員(スタッフ)の必要な部門を明確にする。(大きく2部門を募集)
 - ・舞台進行司会部門(OF・FF・体育館イベント)
 - ・アーチ・バックステージ作成部門
 - ・事務方は生徒会執行部
- ④ 実行委員(スタッフ)の募集は前年度2月実施。4月に新1年生募集。
 - ・新1年生への声かけは部活加入・生徒会執行部募集の頃、並行して。人数が必要な「アーチ・バックステージ作成」「西高祭受付」に入る方向も。
- ⑤ クラスへの連絡会には、クラスの西高祭係が出てくる形式をとる。
 - ・情報がより直接的にクラスに通る。
 - ・オーディションや選抜等が必要な案件には、(必要に応じて)A 西高祭スタッフ or B 西高祭スタッフ + クラス西高祭係(=拡大スタッフ会議)、で行う。



埼玉県立熊谷西高等学校 卒業記念

一人一つずつ

今年度卒業記念品発注

生徒会費中の記念品費三十万円を予算に、毎年卒業生に、卒業式の折に胸につけるコサージュと

記念品が贈られている。今年の記念品の図書カードデザイン原案はマルチメディア部。またコサージュ選びと記念品の発注は生徒会執行部渉外課。「図書カードの業者さんから画像の質や文字入れのバランスなどのアドバイスをしました。結果的にきれいに完成したので卒業生の皆さんに喜んでもらえると思います」と発注係は胸を張っていた。



コサージュは卒業生のみでなく、卒業学年の主任・各担任にも贈られる

来年度

「42nd 西高祭」は
9月2日(土) 3日(日)です

なぜ変更を?

西高祭実行委員会のシステム変更案を評議委員会に出すことになった流れを、生徒会長の坂本くん(二の二)に聞いた。
「昨年度西高祭後の生徒アンケート・職員アンケートに『西実・西高祭の改革を』という意見が多かったのがきっかけです」とのこと。しかし大きな変更を話し合うには西実発足時期が遅く、人数が多すぎるため結局例年通りになつてしまつていたことが『改革を』の要望につながつてい

なつてしまつていたことが『改革を』の要望につながつてい

分析。また三年生には西実になりたくない人も多かったのだがクラス二名の枠があつて入れなかったことと、反面クラスでくじび引きなどで決まった西実もあり作業さえも滞る部門も存在していたことをあげ、「やりたい人の集まる機動的な集団にしたいです」と語る。そして「生徒会執行部の立場があいまいなまま事務方を行うのが慣例でした」とも。希望者参加となつたため執行部も明確に全員がこの西高祭スタッフに入る事ができる。評議委員会で承認を受けたので、すぐに募集がかかる様子。生徒会からの案内に注目したい。

他にも変更プランあり

- ・HR企画制限数の変更(例 お化け屋敷の数を増?)
 - ・HR企画実施場所の変更(自分の教室で実施?)
 - ・OFFFの内容と参加形態 などなど
- これらも含めて新スタッフ会議で話し合いたいとのこと

